

報 告 書

2021年8月27日

活動実施団体名
むつ市海と森ふれあい体験館
南三陸町自然環境活用センター

責任者名
むつ市海と森ふれあい体験館 館長 高屋龍一
報告書作成者名
むつ市海と森ふれあい体験館 スタッフ 小池拓矢

1. 活動の名称 (タイトル・テーマなど)

海の大川が育む豊かさを探る～イルカが跳ね、海藻がそよぐ海を訪ねて イルカ観察会

2. 実施日

2021年6月5日 (土) ・ 6日 (日)

3. 実施場所

青森県むつ市川内・脇野沢地域
むつ市海と森ふれあい体験館

4. プログラム等

6月5日 (土)

午後 南三陸少年少女自然調査隊が体験館に到着

・ 陸奥湾のイルカの生態やその観察方法についてのレクチャー

川内地域のホテルに宿泊

6月6日 (日)

9:00 脇野沢港を出港し、ドルフィンウォッチングを実施

12:00 体験館で昼食後、南三陸少年少女自然調査隊は帰路へ

5. 対象・参加人数 (内訳)

南三陸少年少女自然調査隊 小・中学生 11名
大人 5名

6. 活動の内容・状況・感想（参加者並びに主催者）

本活動では、脇野沢小学校ドルフィンクラブ（全校児童12名）と南三陸少年少女自然調査隊が、陸奥湾のイルカの観察を通して交流を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって交流は中止となり、代わりに脇野沢小学校の子どもたちのビデオレターを上映したり自己紹介カードを渡したりした。そして、新型コロナ対策を万全にした上で、体験館のレクチャーのもと南三陸少年少女自然調査隊のみでイルカの観察を行った。

イルカウォッチング当日の天気は晴れで海況もよく、50頭ほどのイルカを観察でき、参加した子どもたちからは笑みがこぼれていた。船の帰港時や帰りのバスの出発時には、地域の有志の子どもたちがお出迎え、お見送りを行った。

子どもたちからは、「イルカがジャンプしているところを見られて楽しかった」、「どうやってジャンプしているのかを知りたい」などの感想があり、イルカが飛び跳ねる様子に特に興味を持ったようだった。

今回の活動では、両地域の子どもの直接の交流は叶わなかったため、8月に改めてZoomによる交流会を行う予定である。

